

R8市長と語る会／当日意見等集約

No.	内容	主管課	現状	対応策等
1	高速道路への交通アクセスの早期整備について要望	建設住宅課	「有明海沿岸道路」は、今年度中に諸富IC～（仮称）川副IC）が開通予定で、福富鹿島道路は今年8月に着工するなど着実に整備中です。「国道498号鹿島武雄間」は、令和6年度にルート検討範囲が公表されましたが県の検討の中で課題（冠水地域を通過等）があるため検討中です。	「有明海沿岸道路」や「国道498号鹿島武雄間」の早期整備に向け、引き続き、国や県、国会議員等に要望活動等を実施していきます。
2	高津原に道の駅の設置を要望	商工観光課	鹿島市内には国道207号線沿いの七浦地区に道の駅を整備しています。また、近隣の太良町、白石町、嬉野市にも道の駅が設置してあります。	道の駅の整備にあたっては、国土交通省が定める要項や基準にのっとりした手続きが必要です。高津原地区の国道沿いは市街化や各種開発が進んでおり、用地の確保、周辺店舗との競合、財政的な負担などさまざまな課題があります。このような状況を総合的に勘案しますと、現時点では、高津原地区への道の駅の設置は難しいものと考えております。
3	農業の活性化のために鹿島の魅力のPRを	農林水産課	本市は多良岳山系から有明海までの地形を生かした多様な生産が魅力である一方、高齢化や担い手不足等により農家数は減少し、それに伴い耕作放棄地の増加や有害鳥獣による農作物被害、燃料費や資機材の高騰の影響を受けるなど様々な課題が山積している状況です。	市内農家に就農意欲を持ってもらうため、各種補助事業（担い手応援、スマート農業支援、鳥獣害防止対策、遊休農地解消等）の活用を対面や本市HP、SNSを通じて案内しています。また県が主催する「就農フェア」に新規就農者の確保を目指すために出展し、さらには鹿島の農産物を広くPRするため、年2回ほど新規就農者が育てた農産物を販売する「直売会」を開催するなど積極的な魅力発信に務めています。
4	肥前鹿島駅整備について採算性と今後の見込みについて	都市計画課	肥前鹿島駅整備はまちづくりの手段・きっかけであり、中心市街地をはじめとしたまち全体（鹿島太良地域）に効果を波及させることが目的であるため、駅前だけで採算性（費用対効果など）を測れるものではないと考えています。	鹿島駅周辺の整備だけでなく、まち全体（鹿島太良地域）において、食材や食文化、伝統文化や技術、美しい景観などの魅力を体験できるよう素材を磨き上げ、スローツーリズム（地域の魅力を体験しながらゆっくり楽しむスタイルの旅）を推進していきます。肥前鹿島駅においては、スローツーリズムの拠点・玄関口として機能を発揮できるよう、また市民のみならずまや学生にとって使い勝手のよい空間・憩いたくなる場となるよう、準備を進めてまいります。
5	線路上の生い茂った草の対応要請について	広報企画課	令和4年9月23日にJR九州から佐賀・長崎鉄道管理センターに管理を移管されました。優先順位をつけ、佐賀・長崎鉄道管理センターからJR九州に作業を委託する形で除草等を実施しています。	佐賀・長崎鉄道管理センターに連絡し、該当箇所については早急に対応いたしました。雑木が鉄道にはみ出しているなど運行に危険が生じる場合は、佐賀・長崎鉄道管理センターに連絡をお願いいたします。
6	市からのお知らせについてデジタルに並行して紙の活用の要望【熱中症防災無線について】	保険健康課	熱中症についてチラシを作成し民生委員の活動や希望に応じて配布を実施し、市報（8月号）にて涼みどころや無料給水スポットの開設状況についてお知らせを掲載しました。また、熱中症警戒アラート発令時防災無線にて注意喚起を実施しました。	ホームページの誘導だけでなく、必要最小限の要点が放送内容だけで伝わるようにアナウンス内容や表現について検討していきます。（例：詳しくは〇月号広報かしまをご確認ください） また、広報紙について熱中症シーズン中、家庭内で保管していただけるようレイアウトの工夫を検討し、チラシについても熱中症シーズン前の配布（回覧）を検討します。（民生委員会でのチラシの周知）
7	チームオレンジ（認知症の人と家族を地域で支える有志チーム）設置状況について	保険健康課	チームオレンジは未設置ですが、認知症支援事業としてオレンジカフェ（認知症を学ぶミニ講座と創作活動）、認知症サポーター養成講座（認知症の症状や好ましい接し方を学ぶ講座）などを実施しています。	チームオレンジの発足に向けて、今年度はボランティア養成・認知症ステップアップ講座を開催予定です。 当該講座を受講終了された方の協力を得ながら、チーム発足に向けた更なる議論を展開していきます。
8	人口減少を止め、人口増となる施策の検討を	政策調整課	本市におきましても、全国的な傾向と同様に、人口は年々減少しており、今後も続くと推計されています。そのことを前提としたまちづくりが必要であり、中でも人口減少を少しでも緩やかにするため、さまざまな施策に取り組んでいます。	子育て支援や健康寿命を延ばすための取組、交通網の整備や企業誘致などを推進するとともに、鹿島の魅力を内外に発信することで郷土愛の醸成と移住・定住の推進を図るなど、様々な施策を連携・連動させ好循環を生み出すことで人口減少対策を図っていきます。
9	北鹿島地区の排水対策についての要望	環境下水道課 農林水産課 建設住宅課	・市で管理する都市排水の雨水ポンプ場、農業用排水機場の大雨時の適切な運転を実施します。その他に、大雨が予想される際は、事前に嬉野市に対して、排水機場の早期運転等の連絡を行っています。 ・バイパスを横断する暗渠については、上流の断面を確保できる面積を確保されています。 しかしながら想定を超える雨量や周辺のゴミの流れ込みによって、一部の暗渠で断面が阻害されていることは把握しています。	・嬉野市内の農業用排水機場には運転状況をメールで送信する設備が導入されているため、送信先に市農林水産課アドレスの追加を依頼しており、地域での運転状況の共有と連携の強化を進めています。 ・横断暗渠の整備（拡幅）について水路管理者から道路管理者へ申請を行えば工事の実施が可能ですが、暗渠のみを広げても下流域の排水が間に合わない可能性もあるため、まずは排水機場の整備や雨水幹線路の整備を実施した上で検討したいと考えます。